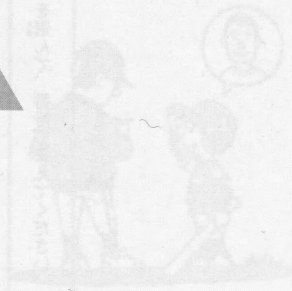
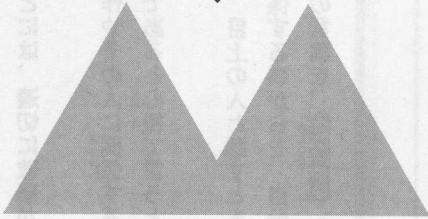


平成21年度
第2回

日本語検定

解答と解説

6
級



- 一 …… 3
 二 …… 2
 三 …… 3
 四 …… 2
 五 …… 1

◆小学生であれば、ふだんは「です・ます」(丁寧語といいますが)を付けて話すことができればよいかもしれませんが、目上の人と話すときなどには、適切に敬語が使えるようにしたいものです。

目上の人の動作やその人に関係するいろいろな事からなどを、相手が目上であると心得て言うときの言葉を、《尊敬語》といえます。

それに対して、目上の人と話すときに、自分や自分の身内がする動作や関係する事がらを、自分が目下だということを心得て言うときの言葉を、《謙讓語》といえます。

問1

これは敬語の問題です。【1】のようなときの言い方として、最も適切なものを選んで、番号で答えてください。

六級 ● 2

一 「家を訪ねてきた近所の人に、お母さんはいないかと聞かれて」

- 1 今、家にはいないよ。病院に行ってるから。
 2 今、家にはいらっしやいません。病院に行っています。
 3 今、家にはいません。病院に行っています。

二 「親せきのおじさんが、昔、高校の陸上部に入っていたと聞いて」

- 1 おじさんは、どんな競技をしていたの。
 2 おじさんは、どんな競技をなさっていたのですか。
 3 おじさんは、何とおっしゃる競技をしていたのですか。

三 「いつもどちがって自転車で乗って家に来た近所のおばさんに」

- 1 おばさんは、お自転車にも乗るのですね。
 2 おばさんは、自転車にもお乗りするのですね。
 3 おばさんは、自転車にも乗られるのですね。

一 「家にはいない」のは自分の母親ですから、2のように「いらっしやいません」と尊敬語を使うのは不適切です。1の「いないよ」と「行ってるから」は、友達と話すような話し方です。3の「いません」と「行っています」のように言うのが適切です。

二 これは、おじさんが競技を「する」ということに尊敬語を使った、2の「なさっていた」が適切です。1は、尊敬語が使われていません。3は、おじさんの「する」に尊敬語を使っていないうえに、「何という競技」を「何とおっしゃる競技」と、使う必要のない「競技」に尊敬語を使っています。

三 これも、「自転車」に尊敬語を使う必要はなく、「乗る」という相手の動作を尊敬語で言います。すると、1は、「お自転車」が不適切。2は、「お乗りする」が謙讓語なので不適切。3が、尊敬語「乗られる」を用いていて適切です。

四 「わたし」というのが自分の動作なので、謙讓語を使うのが適切です。「おわたしする」という謙讓語を使っている、2が適切です。1は、謙讓語が使われていません。3は、謙讓語がないうえに、「あげる」という、相手に恩をあたえる言い方をしていて失礼です。

五 身内である「父」がする「お手伝いをする」とことと、「父」

四 「となりのクラスの先生から、担任の先生に物をわたすことをたのまれて」

- 1 分かりました、ぼくが、先生にわたします。
- 2 分かりました、ぼくが、先生におわたします。
- 3 分かりました、ぼくが、先生にわたしてあげます。

五 「少年野球チームのかんとく」

- 1 父が、来週の大会のお手伝いをしたいと言っていました。
- 2 父が、来週の大会のお手伝いをおっしゃっていました。
- 3 お父さんが、来週の大会のお手伝いをなさりたいと言っていました。



3 ● 六級

◆ ◆ ◆
が「言っていた」ことを言うのですから、3の「なさりたい」と、2の「おっしゃって」という尊敬語は不適切です。1が適切で、「お手伝い(を)したいと申したいました」なら、もつと丁寧な言い方です。

- 一 … 2
- 二 … 3
- 三 … 3

◆ 「自分が」もらう「ことを謙譲語を使って言うと」「いただく」、「相手が」くれる「ことを尊敬語を使って言うと」「くださる」になります。「いただく」や「くださる」という言い方は、相手を目上の人だと心得ている気持ちを表すことに加えて、そのことが自分にとってありがたいという意味を表します。

一 先生にかぎを貸してもらおうとありがたいという気持ちを表す、2 「貸していただけませんか」が適切な言い方です。1 「貸してくれませんか」、3 「貸してもらえま

問2

一〜三のようなことを言うとき、()に入る言い方として、最も適切なものを選んで、番号で答えてください。

六級 ● 4

一 【先生に飼育小屋のかぎを借りに行つて】

- 飼育小屋のそうじをしたいので、かぎを ()。
- 1 貸してくれませんか 2 貸していただけませんか 3 貸してもらえませんか

二 【親せきのおじさんに】

- この前 () ぶどう、とつてもおいしかったです。
- 1 送ってもらつた 2 送ってくれた 3 送ってくださった

三 【先生が映画が好きだと聞いて】

- 先生はよく映画を見に () のですか。
- 1 行つてくださる 2 行つていただく 3 行かれる

せんか」は、どちらもふつうの言い方で、敬語が使われていません。

二 おじさんが、自分の家におぶどうを送ってくれたことがありがたいという気持ちを表す、3 「送ってくださった」が適切です。1 「送ってもらつた」、2 「送ってくれた」には、敬語が使われていません。

三 先生がよく映画を見に行くことは、自分にとって特にありがたいことはありませんから、1の「くださる」や、2の「いただく」を使う必要はありません。「行かれる」と、尊敬語だけを使つて言っている3が適切です。



「らぬぎ言葉」という言い方を聞いたことがありますか。「シャツが着られない」を「シャツが着れない」のように、必要なところに「ら」を入れないで言ってしまうことです。

形の変わり方が例にあげた言葉と同じようになる言葉は、「てきる」という意味で使うときには「られる」を付けて「らぬぎ言葉」になります。このことを参考にして、「四」の一部分が、正しい言い方なら○を、そうでなければ×を記入してください。

「例」着る……着(ない)・着(ます)・着る(とき)・着れ(ば)・着ろ・着よ(う) ↓ ○着られる ×着れる
開ける…開けない)開け(ます)開ける(とき)開けれ(ば)開けろ・開けよ(う) ↓ ○開けられる ×開けれる

一 前の授業が延びたため、学級会が時間どおりに始められなかった。

二 いくら君のたのみでも、それだけは引き受けられないよ。

三 金魚が長く生きれるよう、水そうの水をいつもきれいに保とう。

四 心配事がなくなったので、昨日の夜は、ぐっすりねれた。

問3 ● 解答

- 一 …… ×
- 二 …… ○
- 三 …… ×
- 四 …… ×

解説

◆ 「着る」のような形の変わり方をする動詞や、「開ける」のような形の変わり方をする動詞を「てきる」という意味で使うときには、「られる」を付けます。そのとき「れる」を付けてしまうと「らぬぎ言葉」になります。そのほか、「来る」「も」「られる」を付けて「来られる」と言うのが正しい言い方です。

この三種類以外の主なものとして「書く」のような形の変わり方をする動詞があります。こういう動詞の場合には、「書ける」のような言い方をします。次の説明を参考にしてください。

着る…イ段の音である「き」が共通している。このよう

な形の変わり方をする言葉を「上一段活用」の動詞という。↓「られる」を付けて「着られる」と言う。

開ける…工段の音である「け」が共通している。このような形の変わり方をする言葉を「下一段活用」の動詞という。↓「られる」を付けて「開けられる」と言う。

書く…「書か(ない)・書き(ます)・書く・書く(とき)・書け(ば)・書け・書こ(う)」と変わる。このような形の変わり方をする言葉を「五段活用」の動詞という。↓「てきる」という意味で使うときには、「書ける」と言う。こういう形になったものを「可能動詞」という。

一 「始める」は、「始め(ない)・始め(ます)・始める・始める(とき)・始めれ(ば)・始めろ・始めよ(う)」と形が変わるので、「開ける」と同じ変わり方(下一段活用)です。「られる」を付けて、「始められなかった」と言うのが正しい言い方で、問題文の「始められなかった」は、らぬぎ言葉です。

二 「引き受ける」は、「引き受け(ない)・引き受け(ます)・引き受ける・引き受ける(とき)・引き受けれ(ば)・引き受けろ・引き受けよ(う)」と形が変わるので、「開ける」と同じ変わり方(下一段活用)です。「られる」を付けて問題文の「引き受けられない」は正しい言い方です。

三 「生きる」は、「生き(ない)・生き(ます)・生きる・生きる(とき)・生きれ(ば)・生きろ・生きよ(う)」と形が変わるので、「着る」と同じ変わり方(上一段活用)です。「られる」を付けて、「生きられる」と言うのが正しい言い方で、問題文の「生きれる」は、らぬぎ言葉です。

四 「ねる」は、「ね(ない)・ね(ます)・ねる・ねる(とき)・ねれ(ば)・ねろ・ねよ(う)」と形が変わるので、「開ける」と同じ変わり方(下一段活用)です。「られる」を付けて「ねられた」と言うのが正しい言い方で、問題文の「ねれた」は、らぬぎ言葉です。

- 一 … 2
二 … 2
三 … 1
四 … 1

解説

◆文章の流れやつながりをとらえるうえで重要な《指示語》と《接続語》をあつかった問題です。

一・二は《指示語》といって、主に、前に述べた事गरらを指して、後の文の中で使われる言葉です。「この」「それ」「あんな」「どちら」など、言葉の初めに「こ・そ・あ・ど」が付くので、「こそあど(言葉)」ともいいます。指示語が指しているものをまちがえると、文章の意味がとらえられなくなつてしまいます。

三・四は《接続語》といって、前の文と後の文をつなぐ働きをする言葉で、前の文と後の文がどういう関係でつながる

かを示すのに使われます。

一 指示語が、前のどういう事गरらを指しているかを考えるときには、後にどのように続いていくかが手がかりになります。ここでは、「(それは)…トランプを使う遊びだ」と、ゲームの内容の説明に続くので、「それ」は、ゲームを指していることが分かります。1「二人でゲームをしたこと」は当てはまりません。3「金子さんに教えてもらった、トランプを使う遊び」は、この後に述べられていることです。2「二人でしたゲーム」が適切です。

問4
一と二の——の言葉が指しているのはどういうものや事गरらでしょうか。また、三と四の()にはどの言葉を入れるのが最も適切でしょうか。番号で答えてください。

一 今日、横田さんと二人でゲームをした。それは、昨日金子さんに教えてもらった、トランプを使う遊びだ。

- 1 二人でゲームをしたこと
2 二人でしたゲーム
3 金子さんに教えてもらった、トランプを使う遊び

二 「このあいだ、せっかく早起きして遊園地に行ったのに休園日だったんだ。次は、行く前にやっているかどうか確かめないとね。」
「そんなことがあったの。残念だったね。」

- 1 早起きして遊園地に行ったこと
2 早起きして遊園地に行ったのに休園日だったこと
3 行く前にやっているかどうか確かめること

六級 ● 6

二 後に「残念だったね」と続くので、残念なことの内容を指していることとなります。2「早起きして遊園地に行ったのに休園日だったこと」がその内容として適切です。1は、残念なことではありません。3は、次に遊園地に行く前にすることですから、これも残念なことではありません。

三 1「それで」は、前の事गरらを受けて、当然と思えるような事गरらに後に続くときに使われます。2「なぜなら」は、前の文の事गरらが起きた理由を後の文で説明するときに使われます。3「しかし」は、前の事गरらからすると、逆だと思える事गरらに後に続くときに使われます。ここでは、かぜを引いていることが、食欲があまりないことにつながるの、当然のことと思えますから、1が適切です。

三 わたしはかぜを引いてしまいました。()、あまり食欲がありません。

- 1 それで
- 2 なぜなら
- 3 しかし

四 夏休みには、海へ行こうか。()、山へ行こうか。

- 1 それとも
- 2 それなのに
- 3 それには



7●六級

四 1 「それとも」は、二つのうちのどちらか一つを選ぶときに使います。2 「それなのに」は、前の事がらからは逆だと思える事がらを続ける場合のつなぎ方です。3 「それには」は、前の事がらを実現するために必要な事がらを続けて言うようなときに使います。ここでは、海へ行くか、山へ行くか、どちらかを選ぶほうとして、1が適切です。



- 一 …… 3
- 二 …… 3
- 三 …… 1
- 四 …… 3

◆言葉どうしの表す意味の関係を考える問題です。「一」の中の言葉の順序にも気をつけて考えましょう。

「一」 「ドア」の一部分が「取っ手」ですから、ものの名前と、その部分を表す言葉という関係です。「いす」の一部分が「背もたれ」であるという関係になる、**3**が答えです。**1**は、どちらかめねるときに使うものですが、「ベッド」の一部分が「まくら」ではありません。**2**の「引き出し」は「たんす」の一部分ですが、ならんでいる順序が逆です。

二 「衣服」の中に、「パジャマ」がふくまれますから、ものの名前と、それにふくまれるものを表す言葉という関係です。これと同じになるのは、「菓子」の中に「せんべい」がふくまれるという関係になる、**3**です。**1**の「キヤラメル」と「あめ」は、ともに「菓子」の中にふくまれるという関係です。**2**「茶畑」茶は、生産する場所と、そこで生産されるものという関係です。

三 「皿」と「茶わん」は、どちらも食器です。したがって、ものの名前と、それと同類になるものを表す言葉という関係です。ともに文ぼう具にふくまれる、**1**「はさみ」定規が同じ関係です。**2**「かま」草かりは、道具と、それを使ってすることという関係です。**3**の「包丁」は、それを使って「野菜」や肉などを切るという関係です。

四 北、南、東、西などをまとめて表す言葉が「方角」です。すから、「西」が「方角」にふくまれるという関係です。「バット」は「野球用具」にふくまれますから、**3**が答えです。**1**「バット」野球は、スポーツの用具と、それを用いるスポーツという関係です。**2**の「バット」と「グローブ」は、どちらも野球用具にふくまれるという関係です。

問5

一〜四の一 【一】の中の二つの言葉は、表す意味の点でどんな関係になっているでしょうか。同じ関係になっている組み合わせを一つ選んで、番号で答えてください。

に書いてあるいろいろな関係を参考にして考えましょう。

六級 ● 8

- ◎ ものの名前と、それをふくむ同類のものをまとめて表す言葉
- ◎ ものの名前と、それにふくまれるものを表す言葉
- ◎ ものの名前と、それと同類になるものを表す言葉
- ◎ ものの名前と、その部分を表す言葉

一 【ドア——取っ手】

- 1 ベッド——まくら 2 引き出し——たんす
- 3 いす——背もたれ

二 【衣服——パジャマ】

- 1 キヤラメル——あめ 2 茶畑——茶
- 3 菓子——せんべい

三【皿——茶わん】

1 はさみ——定規じょうぎ

2 かま——草かり

3 包丁——野菜やさい

四【西——方角】

1 バット——野球

2 バット——グローブ

3 バット——野球用具

- 一 … 1
- 二 … 2
- 三 … 2
- 四 … 3

◆似た意味を表す言葉（「類義語」といいます）と、反対の意味を表す言葉（「対義語」といいます）を選ぶ問題です。

一 「大量」は、数や量が多いことで、1 「多量」が似た意味を表す言葉です。2 「数量」は、数と量のこと、言葉自体に多い・少ないという意味はありません。3 「重量」は、物の重さのこと、また、「重量級」など、重いという意味を表すこともあります。

二 「道具」は、何かをするときに使うもの、2 「用

具」が似た意味を表します。1 「工具」は、工作のために使う道具のことですが、ボールが遊び道具であって工具ではないように、「道具」のような広い意味はありません。3 「家具」は、たんすやテーブルなど、家の中に置いて生活に役立てる道具のことです。「具」という漢字そのものに、「道具」という意味があります。

三 「下降」は、位置や程度が下がることで、位置や程度が上がるといいう意味の、2 「上昇」が反対の意味を表す言葉です。1 「乗車」は、電車や自動車に乗ること。3 「向上」は、能力や体力などがいい方向に向かうことです。

四 「入場」は、会場などの中に入ること、その反対の意味の言葉は、会場などから出ていくことである、3 「退場」です。1 「出場」は、競技会などに出ること。2 「休場」は、競技や演劇などで、出場予定の人が休むこと、また、競技場や劇場などが行事を休むことです。

問6

一と二は、1 【中の言葉と似た意味を表す言葉を、三と四は、1 【中の言葉と反対の意味を表す言葉を選んで、番号で答えてください。】

六級 ● 10

◎似た意味の言葉

一 【大量】

- [1 多量 2 数量 3 重量]

二 【道具】

- [1 工具 2 用具 3 家具]

◎反対の意味の言葉

三 【下降】

- [1 乗車 2 上昇 3 向上]

四 【入場】

- [1 出場 2 休場 3 退場]

一〜四の()に入る言葉として、最もふさわしいものはどれでしょうか。番号で教えてください。

一 かさを持たないで出かけたなら、夕立にあつて() ずぶぬれになった。

- 〔1 全身 2 全長 3 全力〕

二 県内の鉄道は、今朝は事故もおくれもなく() されている。

- 〔1 運行 2 運転 3 運動〕

三 都会のまん中なのに、学校のうら山にはさまざまな() のこん虫がいる。

- 〔1 種目 2 種類 3 種子〕

四 運動会の() は、朝小雨がふっていたがすぐやんで、少し暑いくらいになった。

- 〔1 当人 2 当時 3 当日〕

問7 ● 解答

- 一 …… 1
- 二 …… 1
- 三 …… 2
- 四 …… 3

解説

◆ 同じ漢字がふくまれている熟語の使い分けの問題です。文が表そうとしていることをよく考えて、それにふさわしい言葉を選ぶことが必要です。

一 1 「全身」は、体全体という意味です。2 「全長」は、全体の長さ。3 「全力」は、持っているすべての力という意味です。体全体がぬれてしまった、ということをおうとしていますから、1 「全身」が適切です。

二 県内の鉄道について、「事故もおくれもなく」動いて

いるということなので、列車や電車が予定どおり走る意味を表す、1 「運行」が適切です。2 「運転」は、一つの列車や電車を動かすことをいう言葉です。3 「運動」は、鉄道について使う言葉ではありません。

三 性質や型が似たなまごことに分けたそれぞれを表す、2 「種類」が適切です。1 「種目」は、種類によって分けた一つひとつのことで、「オリンピックの種目」などと使います。3 「種子」は、植物の種のことです。

四 3 「当日」が、そのことが行われる日という意味なので、これが適切です。2 「当時」は、話題にしているのと同じころのこと。1 「当人」は、その人本人のことです。

- 一 … 3
- 二 … 4
- 三 … 1
- 四 … 2

◆ 同じ「出る」という言葉を使っても、文によって表す意味はいろいろです。それぞれの文が伝えようとしている事から考え、それを表すのにふさわしい意味を表す言葉を選ぶ問題です。

一 きりが立ちこめてきたということですから、3「発生する」が当てはまります。

二 駅をはなれて、目的の場所に向かうという意味を表す、4「出発する」が当てはまります。

三 会合や会議などに出るといふ意味を表す、1「出席する」が当てはまります。

四 この文の場合の学校を出るといふことは、決められたことを全部学び終わって出ること、つまり2「卒業する」ことです。

問8

一～四の——部分にふくまれている「出る」形はいろいろに変わっています。一つの言葉は一回しか使えないこととします。

から選んで

六級 ● 12

一 きりが出たため、高速道路は一部の区間が通行止めになった。

二 次の急行は、三時ちょうどに駅を出る。

三 明日、学級委員は、学芸会の計画をする集まりに出てください。

四 今年大学を出たいところは、コンピューター関係の会社に入った。

- 1 出席する
- 2 卒業する
- 3 発生する
- 4 出発する

一〜四のようなことを言うとき、()に入る言い方として、最もふさわしいものを選んで、番号で答えてください。

一 知らない人たちの中になんかしていいので、()。

「1 息が合った 2 息が上がった 3 息が止まった」

二 つまみ食いなんかしていいと、弟は()抗議した。

「1 口をとがらせて 2 口をつぐんで 3 口をそろえて」

三 なまの野菜にちよつと()だけで、おいしいサラダができる。

「1 手を加える 2 手をやく 3 手を付ける」

四 母が()編んでくれたセーターを着ると、とても暖かく感じる。

「1 心を入れかえて 2 心をこめて 3 心を打って」



13 ● 六級

問 9 ● 解答

- 一 …… 3
- 二 …… 1
- 三 …… 1
- 四 …… 2

解説

◆体の部分など、同じ言葉をふくんでいる三つの慣用語の中から、文が表そうとしていることに合うものを選ぶ問題です。

一 1の「息が合う」は、おたがいに調子や気持ちがあいつたり合つて、何かがうまくできることをいいます。2の「息が上がる」は、走るなど運動したことが原因で呼吸が苦しくなることをいいます。3の「息が止まる」は、きんちようして息ができないような苦しい気持ちになることをいいますから、これが適切です。

二 不満を言う様子を、1のように「口をとがらせる」といいます。したがって、1が適切です。2の「口をつぐむ」は、口をとぎしてだまつていることです。3の「口をそろえる」は、おおぜいの人が同じことを言う様子をいいます。

三 1「手を加える」は、よりよくするために、いちおう仕上がっているものにさらに何かをすることです。2「手をやく」は、うまくあつかえないで困ること。3「手を付ける」は、今までは何もしていなかった仕事にとりかかることをいいます。したがって、1「手を加える」が適切です。

四 相手のことを思い真心をもって何かをするときに、「心をこめる」といいますから、2が適切です。1の「心を入れかえる」は、よくない考え方や態度を変えること。3の「心を打つ」は、深く感動させることをいいます。

一 … 2

二 … 1

三 … 1

四 … 2

◆ 使い方のうえで注意が必要な、いろいろな種類の言葉を取り上げています。

一 【もっと】…「もっと」は、今ある状態よりさらに程度が高まる、また、程度を高める様子を表します。2は、今でも背が高いのにさらに高くなるだろうと言おうとしているわけですから、適切な使い方です。1は、今は苦しいのが逆に楽になるのですから、適切な使い方とは言えません。

問10

一～四の言葉は、一方の文では適切に使っていますが、もう一方の文では適切でない使い方をしています。適切に使っているほうの文を選んで、番号で答えてください。

六級 ● 14

一 【もっと】

- 1 今は苦しいけれど、ここを乗りこえればもっと楽になるよ。
- 2 田中君は今でも背が高いけれど、もっと高くなりそうだ。

二 【すでに】

- 1 駅まで全力で走ったが、すでに電車は出た後だった。
- 2 先生にたのまれた実験道具は、理科室にすでに持っていきます。

三 【さっぱり】

- 1 外国人に話しかけられたが、何を言っているのかさっぱり分からなかった。
- 2 夜になってから遊びに行こうとさそわれたが、さっぱり断ろうと思う。

四 【しとしと】

- 1 あらしが来て、昨夜はかなりの雨がしとしと降った。
- 2 東京は先週から梅雨に入り、今日も、朝からしとしと雨が降っている。



二

【すでに】…「すでに」は、その時までには何かが終わっている、また、何かを終えている様子を表すので、1が適切な使い方です。2は、「すぐに持っていきます」か「すでに持っていています」ならば適切です。

三

【さっぱり】…「さっぱり」は、さわやかで気持ちのよい様子をいうほかに、少しも(くない)、ぜんぜん(くない)、という意味もあります。この「少しも(くない)」の意味で使っている1が適切です。2の場合は、心をはっきり決める様子を表す、「きっぱり」ならば適切です。

四

【しとしと】…「しとしと」は、雨が静かに降る様子を表します。1のような、あらしで「かなりの雨」が降るような場合には使わない言葉です。2のように、静かに降る梅雨どきや、春の雨を表すときなどに使います。



次のメモは、新美南吉作『ごんぎつね』のあらすじをまとめたものです。この中に、漢字の使い方・送りがなの付け方・かなづかいの正しくないところがあります。直さなければならぬものをご確認ください。

●「ごんぎつね」は、辺りの村へ出てきていたづらはかりしていた。ある日、兵十が魚をとっているときに、びくの中のうなぎをほり出してがしてしまった。
●兵十のうちでそう式があつて、おっかあが死んだことが分かった。ごんは、おっかあが病気でねていて、うなぎが食べたいと言つたにちがいないと思つて、自分のしたことを後かいた。
●それから、ごんは、くりや松たけを兵十のうちのうら口に置くようになったが、兵十はそれを神様がめぐんでくれるものだと思つた。ごんは、それでは自分は引き合わないと思つた。
●ある日、またごんがくりを持つていくと、兵十がごんを見つけて火なわちゆうに火薬をつめてうつた。兵十はくりがあるのを見て、ごんがくれたのだと気づき、「おまえだったのか。」とごんに言つた。ごんはぐつたりと目をつぶつたままうなずいた。

- 1 辺り
- 2 いたづら
- 3 ほり出して
- 4 食べたい
- 5 置く
- 6 神様
- 7 引き合わない
- 8 火なわちゆう
- 9 火薬
- 10 うなずいた

15 ● 六級

問 11 ● 解答

解説

◆漢字の使い方・送りがなの付け方・かなづかいのまちがいがふくまれています。自分で書いた文章などを見直す場合には、こうしたまちがいにも気をつけなければなりません。

- 1 辺り…正しい書き表し方です。
- 2 いたづら…特別に「づ」を用いる場合ではありません。んから、「いたずら」が正しい書き表し方です。
- 3 ほり出して…正しい書き表し方です。

4 食べたい…正しい書き表し方です。

5 置く…「置いてくる」が正しい書き表し方です。「おく(置く)」は、「おか(ない)・おき(ます)／おい(て)、おく・おく(とき)・おけ(ば)・おけ・おこ(う)」と形が変わる五段活用(動詞)です。このような言葉は、ふつう、形が変わる部分から送りがなを付けますから、「置いてくる」となります。

6 神様…正しい書き表し方です。

7 引き合わない…「引き合わない」が正しい書き表し方です。苦勞(くろう)したかいないという意味の言葉で、人に「会う」ではありません。

8 火なわちゆう…「火なわ」と「じゆう(銃)」が合わさつてできている言葉なので、「火なわじゆう」が正しい書き表し方です。

9 火薬…「薬」は「薬」のまちがいで、「火薬(かやく)」が正しい書き表し方です。

10 うなずいた…正しい書き表し方です。



- ア … 2
イ … 4
ウ … 3
エ … 5
オ … 1

◆漢字を使った言葉をしりとりで続ける問題です。「野宿」と「宿屋」のように、同じ漢字でも言葉によって読み方が異なるものもあります。ここに登場する言葉は次のとおりです。

(上の輪)

宿題 ↓ 題名 ↓ 案内 ↓ 内海 ↓ 海水 ↓ 水平 ↓ 平野 ↓ 野宿

(下の輪)

宿屋 ↓ 屋外 ↓ 外国 ↓ 国土 ↓ 土台 ↓ 台風 ↓ 風上 ↓ 上下 ↓ 下宿

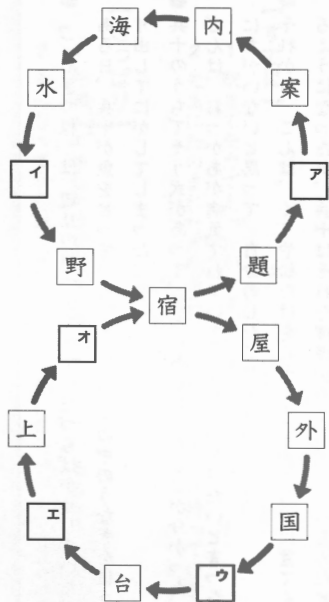
アには、**2**「名」が入ります。「題名」は、本や作品など

問12

例のように、□の中の漢字を矢印の方向につなぐと、それぞれ二文字で表せる言葉ができます。

例) 歯 ↓ 車 ↓ 体 「歯車」と「車体」という言葉ができます。

同じようにして、二文字で表せる言葉ができるように、ア～オの□に当てはまる漢字を選んで、番号で答えてください。一つの漢字は一回しか使えないこととします。



- 1 下
2 名
3 土
4 平
5 風

の名前のことです。「名案」は、すばらしい考えや思いつきということ。「内海」は、まわりをほとんど陸地にかこまれている海のことです。「ナイカイ」「うちうみ」両方の読み方があります。

イには、**4**「平」が入ります。「水平」は、静かな水面のように平らであること、また、全くかたむいていないことで、「棒を水平に持つ」のように使います。「平野」は、平らで広く開けている土地のことで、「関東平野」などがあります。「野宿」は、野原や山など、外でねて夜を明かすことです。「宿屋」は、旅行をする人をとめることを商売にしている家、旅館のことです。「屋外」は、建物の外ということ、で、「屋外で作業をする」のように使います。

ウには、**3**「土」が入ります。「国土」は、その国の土地という意味で、「国土を開発する」のように使います。「土台」は、建物や橋などのいちばん下にあつて、基礎になっている部分のことです。

エには、**5**「風」が入ります。「台風」は、夏から秋にかけて日本付近にやつてくる、強い熱帯低気圧のことで、はげしい雨と風をとまなうものです。「風上」は、風がふいてくる方向のことで、反対の意味の言葉は「風下」です。

オには、**1**「下」が入ります。「下宿」は、はなれた土地にある学校などに通うために、そこに住んでいる人の家の部屋を借りて住むこと、また、住んでいる家のことです。

一～四の()に入る正しい漢字を選んで、番号で答えてください。

一 植物や動物が自然のままに()育てることができるような環境を守りたい。

[1 生 2 正]

二 ここには何()もの絵画が展示されて、ほしい人には売られてもいる。

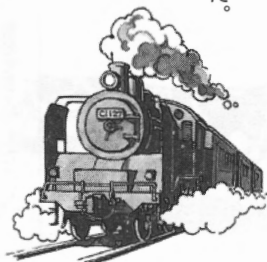
[1 点 2 店]

三 蒸気機関車の時代は、汽車は汽()を鳴らしながら走ったものだ。

[1 的 2 笛]

四 今年は()夏だったので、稲の収刈が心配されている。

[1 冷 2 例]



17 ● 六級

問 13 ● 解答

解説

◆同じ読み方(音読み)をする漢字の使い分けを取り上げている問題です。漢字の表す意味から考えましょう。

一 「生」にも「正」にも、「セイ」という読み方があります。「植物や動物が〜」ということなので、1「生」を入れて生まれ育つことを意味する「生育」とするのが正しい書き表し方です。「セイイク」という言葉には、人や動物が育つて大きくなることをいう「成育」もあります。

二 「点」にも「店」にも、「テン」という読み方があります。

す。絵画や品物を数えるときには、1「点」を入れて「一点、二点、…」と数えますから、ここでは「何点(もの)」とするのが正しい書き表し方です。

三 「的」にも「笛」にも、「テキ」という読み方があります。汽車が鳴らすとなっているので、2「笛」を入れて、蒸気力で音を出す笛のことである「汽笛」とするのが正しい書き表し方です。蒸気機関車や蒸気船などが、出発するときや、まわりに注意をうながすときに鳴らすものです。1「的」は、ほかの言葉に付いて、「科学的」「具体的」などと使います。

四 「冷」にも「例」にも、「レイ」という読み方があります。稲の収刈が心配されるのは、夏の気温が低かったからだということを言おうとしているので、1「冷」を入れて、冷たい夏という意味の「冷夏」とするのが正しい書き表し方です。2「例」は、「例年」「例題」などと使う漢字です。

- 一 … 3
 二 … 8
 三 … 1
 四 … 7

◆ア・イ両方の()に当てはまる、一つの漢字を選ぶ問題です。アはその漢字の訓読み、イは音読みです。それぞれの文が言おうとしていることから、どんな言葉がそこにくるかが考えられるか、の中の漢字を参考にして考えていきます。

一 アは、うとうとしてしまうような陽気ということ、季節を表す言葉が入ると考えられますが、3「春」と4「秋」のうち、イに入れると「青春時代」となる、3「春」が当てはまります。「青春」は、人生の中で春にたとえ

問14

一〜四それぞれのア・イの()

()には、同じ漢字が入ります。

から選んで、番号で答えてください。

六級 ● 18

られるような、わかく元気な年代、青年のころということとです。

二 アでは、「モミの木のくは先がとがっている」ということから、8「葉」が考えられます。イに当てはめると、秋に木の葉の色が赤や黄色に変わることという「紅葉」になります。

三 アの、「くめて」という形になるのは、1「改」と6「初」ですが、「かけ直す」と言っているので、「もう一度新しく」という意味で、1を入れた「改めて」が当てはまります。イでは「改良」になります。不十分な点や悪い点を改めて、よくすることです。

四 アの、「くっていた」という形になるのは、2「保」と7「放」ですが、「まぶしいくらいの光を」ということから、7を入れた「放っていた」がふさわしい言い方です。イでは「放牧」になります。牛や馬、羊などを野山で放し飼いにすることです。

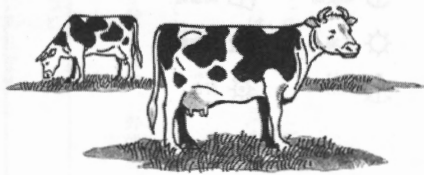
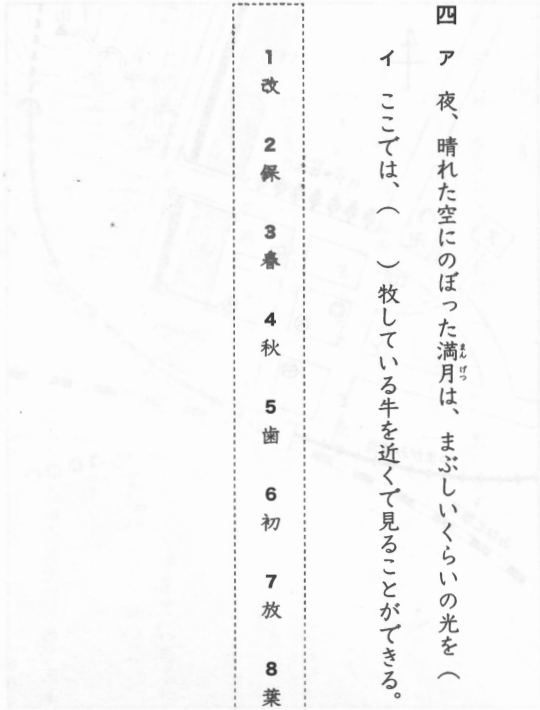


- 一 ア 気持ちのよい()の陽気に、ついうとうとしてしまった。
 イ 父は青()時代を、テニスに夢中になってすごしたそうだ。
- 二 ア モミの木の()は先がとがっているから、指でさわるといたいよ。
 イ 山は一面の紅()にいろどられて、とてもきれいだっただ。
- 三 ア 友達に電話をしたらいなかったの、()めてかけ直すことにした。
 イ 有害なガスをできるだけ出さないように、エンジンが()良された自動車が
 つくられている。

四 ア 夜、晴れた空にのぼった満月は、まぶしいくらいの光を（ ）っていた。

イ ここでは、（ ）牧している牛を近くで見ることがができる。

- 1 改
- 2 保
- 3 暮
- 4 秋
- 5 齒
- 6 初
- 7 放
- 8 葉



19 ● 六級

- 1 B...J
- 2 C...M
- 3 D...N
- 4 E...P
- 5 F...Q
- 6 G...R
- 7 H...S
- 8 I...T

ア 夜、晴れた空にのぼった満月は、まぶしいくらいの光を（ ）っていた。
 イ ここでは、（ ）牧している牛を近くで見ることがができる。

- 一 ア…1
イ…2
ウ…4
- 二 ア…1
イ…2
ウ…2

◆地図に表されている情報を読み取り、それぞれの文が言おうとしていることにふさわしい言葉を考えたり、道順の説明の仕方を考えたりする問題です。

一 ア サイクリングロードは、川に並行してあります。このようなとき、「〃に沿って」というので、1「川沿い」が当てはまります。2「川上」は、川のみなもとに近い方、上流のことです。3「川口」は、川が海に流れこむところのことです。「川口」は「河口」ともいいます。

イ 記念碑（□）があるお寺（卍）は、地図を見ると、

二 「城あとにあるお寺」へ行くには、道ごとに区切って考えると分かりやすくなります。

① みなと駅の正面の道を行くと、郵便局（㊟）が左に見えてきます。

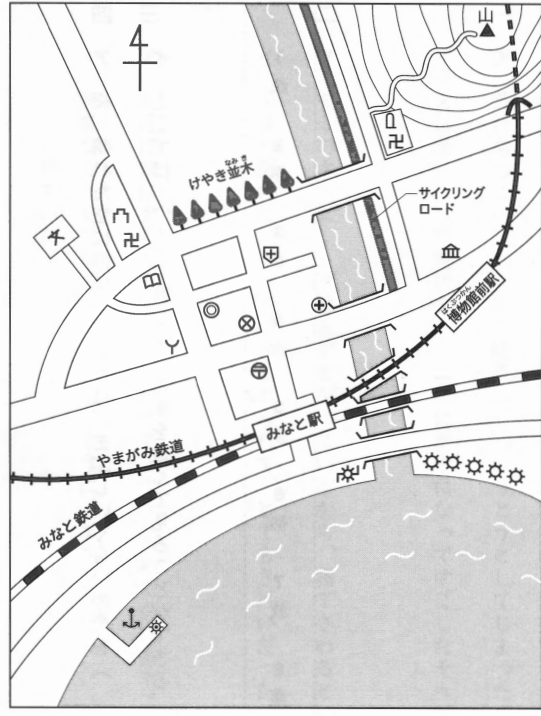
② 郵便局と「警察署」（⊗）にはさまれた道を左に曲がってしばらく行くと、今度は「消防署」（Y）が見えてきます。

③ その交差点を右に曲がり、市役所（◎）が右手にある交差点を通りすぎてしばらく行くと、「二つ目」の交差点に出ます。

④ 左手に図書館（□）があり、その向かいに、城あと（□）にあるお寺があります。

問15

次の地図を見て、後の質問に番号で答えてください。



- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| ◎ 市役所 | Y 消防署 | ⊗ 警察署 | ⊕ 保健所 |
| 文 学校 | ⊕ 病院 | ㊟ 郵便局 | □ 図書館 |
| 卍 寺 | ⚡ 発電所 | ⚙ 工場 | 🏛 博物館 |
| □ 記念碑 | □ 城あと | ⚓ 漁港 | 🏮 灯台 |

一 アーウの文は、地図を使って町の様子を説明したものです。()に当てはまる言葉はどれでしょうか。

ア サイクリングロードは、()にあります。

- 〔1 川沿い 2 川上 3 川口〕

イ 記念碑があるお寺は、山の()にあります。

- 〔1 いただき 2 ふもと 3 まわり〕

ウ けやき並木は、町の()側にあります。

- 〔1 東 2 西 3 南 4 北〕

二 この町に初めて来る人に、電話で「みなと駅から城あとお寺へは、どのようにして行くのですか。」と聞かれ、次のように説明しました。アーウの()に当てはまる言葉を番号で答えてください。

この町にはお寺が二つあって、城あとお寺のあるのは駅の北西にあるお寺のほうです。

城あとお寺へは、まず、みなと駅の北側に出て、正面の道をまっすぐ行きます。郵便局と

ア (1 警察署 2 保健所)の間の道を左に曲がり、少し行くと、

イ (1 病院 2 消防署)のある交差点があります。その交差点を右に曲がると、

ウ (1 最初 2 二つ目)の交差点に図書館があります。その向かいにお寺があります。

- 一 … 3
二 … 3
三 … 2
四 … 2
五 … 1
六 … 1
七 … 2
八 … 2

◆総合問題です。これまでにでてきたいろいろな内容がふくまれています。

一 二つ後の文の中に、「このすばらしい星空」とあるのがヒントになります。アのすぐ次に、「本物の夜空のようだ」とあるのと合わせて考えると、感動の表現である、**3**「すばらしいなあ」が適切であることが分かります。

二 「目的地向かって」することですから、船で海をわたることを表す、**3**「航海」が適切です。**1**「公開」は、

だれも見たり使ったりできるようにすること、**2**「黄海」は、中国と朝鮮半島の間の海の名前です。

三 「北の方角」を知らせるのは、北極星という星ですから、**2**「知らせてくれる」が適切です。**3**「知らせてくださる」のように尊敬語を使う必要はありません。また、**1**「お知らせする」は謙譲語で、これも不適切です。

四 「ギリシャのくの世界」と続くので、「世界」といえる広がりをもつものとして、**2**「神話」が適切です。神々の活やくした時代の話のことで、その中に登場する動物などが星座の名になっているわけです。

五 星空が位置を変えていくときにどんな音楽が聞こえているかという問題です。二つ後の文に、「やがて、静かな音楽に変わると」とありますから、「静かな音楽」とはちがう音楽であつたことになります。その意味で、**1**「はげしい(音楽)」が適切です。**2**「やさしい」や**3**「おだやかな」では、「静かな音楽に変わる」とは言えません。

六 **1**「じいつと見上げつづけた」が正しいかなづかいです。「じいつと」は、特に「ぢ」とする場合はないの**で**「じ」を使います。「見上げ」つづけた」は、「つづ」と同じ音が続いてにぐる特別な場合の書き方です。

七 「どうして」という疑問を表す言葉を受けているので、**3**「分かるにちがいない」のように言い切つてしま

★これまでの問題に出てきた内容をふくむ「総合問題」です。

問16

次の文章は、小学校四年生の島村さんが書いたものです。この文章について、後のそれぞれの質問に答えてください。

六級 ● 22

ここは、プラネタリウム館の中である。
(ア)。本物の夜空のようだ。部屋中央にある、あのきみような形の機械が、このすばらしい星空をうつし出しているのだろうか。部屋の中には、五十人ぐらいの人が入っているのに、全く自分一人だけで、うちゅうの中にあるような気持ちになつてしまふ。
天の川が、うすく白く見えている。その川をばさんで、ひこ星とおひめ星が光っているのははつきりと見える。

空でいちばん目印になるのは北極星だ。目的地向かって「コウカイ」をしているとき、この星が北の方角を(ウ)大切なものだとすることを、本で読んだことがある。その北極星は、どこで光っているのだろう。この星の見つけ方を、係の人が分かりやすく説明してくれる。あ、あれかな。あれらしい。やっぱり、思ったとおりのところにあつた。

空一面、星の世界だ。星を線でつないでいくと、いろいろな星座がうかがあがる。天の川をばさんで、わし座とこ座。南の地平線の辺りに、美しいSの字形のさそり座、そのとなりにある、いて座など、ギリシャの(エ)の世界に出てくる星座が次々にうかぶ。星うらないに使われる生まれ月の星座が全部うつされたときは、みんなが「わあつ」とかん声をあげた。

(オ)音楽とともに、星空は一億二千万年後に向かつて位置を変えていく。目の前の機械が体を大きくくねらせながら静かに動く。やがて、静かな音楽が変わると、今まで見えていた星座はすがたを消す。北極星の位置もだぶ変わっている。これが一億二千万年後の星空か。(カ)。ふしぎだ。こんな未来の星空がどうして(キ)。

プラネタリウムを見学して、星の世界のすばらしさを知ることができ、ほんとうに楽しい一日だった。

一 アに入る言葉として最も適切なものはどれでしょうか。

〔1 うす暗いなあ 2 きみょうだなあ 3 すばらしいなあ〕

二 イの「コウカイ」を漢字で書くとき、正しいものはどれでしょうか。

〔1 公開 2 黄海 3 航海〕

三 ウに入る言葉として最も適切なものはどれでしょうか。

〔1 お知らせする 2 知らせしてくれる 3 知らせてくださいる〕

四 エに入る言葉として最も適切なものはどれでしょうか。

〔1 神社 2 神話 3 神前〕

五 オに入る言葉として最も適切なものはどれでしょうか。

〔1 はげしい 2 やさしい 3 おだやかな〕

六 カに入る言葉を書くときのかなづかいとして適切なものはどれでしょうか。

〔1 じいと見上げつづけた 2 ちいと見上げつづけた 3 じいと見上げつづけた〕

七 キに入る言葉として最も適切なものはどれでしょうか。

〔1 分からないのか 2 分かるのだろうか 3 分かるにちがいない〕

八 この文章に題を付けるとしたら、最も適切なものはどれでしょうか。

1 星座と未来の星空
2 星の世界のすばらしさ
3 プラネタリウムのしくみ

23 ● 六級

うのは不適切です。また、1「分からないのか」は、プラネタリウムで一億二千万年後の星空をうつし出し出しているのだから、分かっていることは明らかで、不適切です。2を入れて、「ふしぎだ。…どうして分かるのだろうか」とするのが適切です。

八 文章の題ですから、最後の段落などにまとめとして書かれていることや、全体を通して書かれていることを考えます。すると、1「星座と未来の星空」のことは、文章の後半から書かれていることで、まとめになっていません。また、この文章は「プラネタリウム館」の中で体験したいろいろなことが書かれていますが、3「プラネタリウムのしくみ」について書かれているわけではありません。最後に、「星の世界のすばらしさを知ることができ、ほんとうに楽しい一日だった。」としめくくっているように、書かれている内容の中心は、2「星の世界のすばらしさ」で、これが題として最も適切です。

